

スポーツレ

toto
FOR ALL SPORTS OF JAPAN

BIG

この「RECふくい」は、スポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています。

RECふくい

No.85

2018年3月号

福井県レクリエーション協会 〒918-8012 福井市花堂北2丁目17-3 TEL&FAX:0776-35-5509
E-mail:fukuirec@angel.ocn.ne.jp URL:http://fukuirec.net



平成29年度スポーツ庁受託事業

「スポーツ医・科学等を活用した健康増進プロジェクト(スポーツ・レクリエーションを通じた健康寿命延伸事業)」に協力

スポーツ庁より日本レクリエーション協会が標記事業の委託を受けた。開催会場は国内5か所。その1つに福井が選ばれた。

福井では、花堂元気クラブが行っている「元気塾」を中心に花堂地区の皆さんに協力してもらうことになった。参加年齢は、60代と70代の方、計20名ほど。期間は、10月から12月までの3ヶ月間に12回実施。1回目と12回目にはファイブ・コグ(認知症検査)と体力チェック9種目を行って、運動結果をみる。また、運動未実施者として検査だけをする方を老人会に協力依頼。効果検証をするという事業を実施した。スタッフは、不安げにスタートしたが、提供されたいろいろなプログラムは12回の中で全身の身体を無理なく使う運動で、レク支援のやり方に沿って行うため、予想以上に楽しく、地域の人達の輪を作ることもなった。日レクからの取材もあり、忙しくも楽しい3ヶ月間になった。

(報告: 辻岡世紀子)

ソフトスポーツ紹介 《さいころシュート》

ジャンボさいころを使って下半身の筋肉を鍛える運動。レク活動の1つであるが、3回に分けて行った。進め方のコツとしては、運動の技術が少しずつアップして挑戦するような内容にし、そして参加者の自主性を大事にすることである。

2時間のプログラム紹介

- ・受付（来た人からおしゃべり） 【13：00～13：30】
- ・体操・宅スポ 【13：30～13：45】
- ・スポレク・ワーク2種類 【13：45～14：30】
- ・ソフトスポーツ 【14：30～15：30】
- ・クールダウン（ペアマッサージ）



回数・日にち	プログラム進行内容と様子
1回目：11月14日	<p>①3グループになる。1グループに1個のさいころ。一人ずつ順番に足で蹴って飛ばす。</p> <p>②さいころの数字に注目した参加者。数字の目を意識して出すことになった。予想する数字を言い、蹴る。</p> <p>③蹴り方に横にスライドする蹴り方が登場する。それを取り入れて（キャッチ）して、皆でスライドするように蹴る。</p> <p>④スライド蹴りがなんとなく出来るようになったので2個並べてスライド蹴り。うまくスライドすると上の数字が変わらないことを発見。</p> <p>⑤上の数字が変わらないように2個のさいころ蹴りに挑戦。3本引いたラインを使って得点を入れることになる。3本のラインのどこをどの点数にするのかを皆で考えて決める。</p> <p>⑥いよいよ3グループで対抗戦。やりながらも、皆が審判役になりワイワイと行う。終了後はさらに蹴り方の研究、3個蹴りにも挑戦する。</p>  <p>どこまでスライドできるかな</p>
2回目：11月21日	 <p>各グループで作戦考えてキック!</p> <p>①四角ラインを引きその中に4つのさいころを入れる。今回は、4グループ。各グループ1人ずつ出てきて4つのさいころを蹴り出す。前回とは違って蹴りにくい。皆で蹴り方を研究。</p> <p>②得点を決めて、4グループで対抗戦をする。5点、10点の点数だったので簡単な計算や審判役をしながら進める。</p> <p>③終了後、もっと蹴りたいメンバーはいろいろな角度にさいころを置いて足の使い方を研究する。</p>
3回目：11月28日	<p>①前回最後に行った人たちの蹴り方を紹介する。やり方を伝えて4グループでいろいろな足使いに挑戦。</p> <p>②ルールを前回よりも難しくし、マイナスも入れる。1回行うたびに、作戦を練ったり、計算し、セーフかどうかの判定もし、参加者全員で見守る感じになる。</p> <p>③最後に点数を計算し、同点の場合は同点決勝をする。</p> <p>④もう1回戦。さらに各グループ頭も体も使って行う。</p>  <p>エイ!思い切ってキック</p>

2017 ふくいスポーツ・レクリエーションフェスティバル

11月23日（木・祝）に『2017ふくいスポーツ・レクリエーションフェスティバル』を福井市西体育館にて9：30～12：30まで開催しました。年長さんから低学年の子どもたち100名が参加しました。専門学校や短大の学生さんたちが、会場の中でボランティアをしてくださいました。

今年は、『三びきのやぎのがらがらどん』のお話に登場する「トロル」とやりとりをしながら、様々な体を使った体験をしてもらいました。最初はわくわくコーナーで、絵本を読んでもらい、どきどきコーナーではトロルが草場に行く橋に見立て



〈読み聞かせ：おはなしはじまりはじまり〉



〈バランス平均台：トロルだぞー〉

たくさん体を動かした後にクラフトコーナーでいいものを作ったり、囲碁ボールコーナーでボールを入れる遊びに集中している子もいました。

お話の世界を、体を使って楽しめたひとときでした。



た「バランス平均台」「ケンパ」「ゴムとび」「スラックライン」を通りぬけ、最後のうきうきコーナーではスカイクロスのリングを使って壁に描かれた大きなトロルをやっつけました。

橋のたもとにいる怖いトロルから「おまえは誰だ!」と言われて、泣きながら名前を言う子、負けずに元気よく名前を言って勇気を見せた子どもたちでした。楽しすぎて3周もした子もいたり、



〈スカイクロス：あたれ～トロルをやっつけるぞ〉

'17県民スポーツ祭 スポーツ・レクリエーション

平成29年11月23日(木・祝)、福井市西体育館(福井市飯塚町10-8)にて、県民スポーツ祭の「スポーツ・レクリエーション」が開催されました。

年長の子供や小学生とその家族・課程認定校の学生や一般の参加者多数の大賑わいで、「はぴりゅう」と一緒に「はぴねすダンス」から



はじまり、【チャレンジコーナー】では「ディスクゲッター9」「スピード・ラダーゲッター」を、【ニュースポーツコーナー】では3B体操〔(公社)日本3B体操協会福井県支部〕・インディアカ〔福井県インディアカ協会〕・スロージョギング〔ふくいスロージョギングの会〕の体験を行いました。

参加者からは、「ニュースポーツ」について「い

ろいろと知ったり触れ合うことが出来て大変楽しかった♪」、「体験が自由にできて楽しくスポーツが出来て非常に良かった!」、「これからももっともっと参加したい~」との、嬉しい感想をいただきました。

※平成30年度は、「福井しあわせ元気国体」・「福井しあわせ元気大会」開催のため、お休みします。



平成29年度

レクリエーション支援 基礎講座



仲間の力を借りてプログラミング作成

昨年6月から始まった『レクリエーション支援 基礎講座』は、今年の1月で8回を終了し、残すところ1回の講習会と、面接会になりました。

今年度は、新カリキュラムとなりテキストも新しくなったので、講師陣も新カリキュラムについての講習会を受講してのスタートです。

新しく6名の受講生と昨年度からの継続の受講生4名でスタートし、《心の元気づくり》

というレクリエーションの主旨を達成するためのレクリエーション支援の理論と方法について学んでいます。受講生は現在、今まで学んできたことの集大成として、「プログラムの企画・実施・評価・改善」の演習に取り組んでいます。対象者との相互作用を意識し、ハードル設定やアレンジ、CSSプロセスを効果的に活用するためにプログラムを企画しています。熱心に何度も講師に質問しながらプログラムを作成しています。1月、2月と演習開始です。受講生が互いに対象者となって実施し、評価しあっています。さて、受講生の気持ちはどうでしょうか。

受講生のコメント

- ・プログラムの立案で、「導入、交流、発展」の解釈が少しわかった。いざみんなの前でやるとなると難しい。(H・Kさん)
- ・支援の実技を行うことで技術不足を知ると共に、改めて支援者になる課題が見つかり、今一度見直せる機会を頂き精進していこうと思います。(U・Kさん)
- ・一緒に受講してきた人たちのプログラムを体験することは楽しく、また振り返りもわかりやすく勉強になりました。(Y・Yさん)
- ・実技では予定通りにするだけに集中しすぎていました。急にはできませんが、表情も見ようになりたいと思いました。(T・Tさん)
- ・プログラムの立案、少し立てられるようになりました。(M・Mさん)
- ・プログラムの企画、難しい。(Y・Kさん)



演習開始!レク支援必死でやっています。

福祉レクリエーション講習会

【介護の現場ですぐに使える 心あたたまるレクリエーション支援法】

日時:平成29年12月24日 9:30~12:30 会場:福井県社会福祉センター

『①手遊び ②わらべ歌を使って ③漢字パズル』の3種類のレク活動を行いました。講師は、「ゆりレク研究所メンバー」の辻岡世紀子氏・栗田民恵氏・加藤昌美氏(日本レクリエーション協会公認指導者・福井レクリエーション協会所属)の3名です。

①の手遊びは、ベトナムの遊び歌を日本の歌にアレンジしたもの。グーとパーの動きを「きくち体操」の本の内容をヒントに親指を意識したにぎり方のもの。そして、寝たきりの方にもできるハンドマッサージを2人組で行いました。

②のわらべ歌「おしくらまんじゅう」は手遊びからのつながりで、自分の体タッチから2人組でのタッチ、列になってのタッチと自然なかたちの支援で体験者は心あたたまる穏やかな気持ちになることを体感しました。



〈手を使っているといつの間にか手が暖かくなっている〉



〈4つの漢字の組み合わせ発表中〉

遊びは老若男女問わず好まれるようで、「愛人」と書いて「羨ましい」と読むなど、言葉遊びを通して頭の体操にもなるように思える発見の多い講習会でした。

参加者からは「あたたかい気持ちになった」「こんな優しいレクの現場を作りたい」「簡単なことでレクの現場を心地よく出来ることを学べた」「心あたたまる穏やかな気持ちになることを体感した」等、喜びの声を多数頂きました。

③の漢字パズルは富山大学病院言語聴覚士の先生から紹介された認知症の人でも楽しめる活動で、現場で実践している様子を動画で紹介。その後漢字パズル制作、その漢字パズルを使ってのレク支援を体験しました。実際に体験したことで、自分達の気持ちの表現から仲間で楽しむことを通して心を一つに出来る体験をしました。もちろん、制作した漢字パズルはすぐに現場で実践出来るものです。漢字は高齢者や認知症の人にも馴染み易く、造語を作る



〈施設でやるとね…と熱く説明!〉

★デイケアでの実践例★

1グループ4~5人、グループで1セット(24文字)のパズルを用意し、5グループで実施しました。普段レクリエーション活動にあまり参加しない男性利用者の方も興味津々。「何や、これは」と寄ってきました。あるグループでは、身を乗り出し手を伸ばしてテーブルに広げているカードを何とか取ろうとする女性利用者。漢字パズルの説明をするまでもなく、自由に漢字を作り出し、2文字の熟語を作っているグループもありました。職員もついつい利用者の方と一緒に参加。「愛人」「変顔」などそれぞれに熟語を作って楽しんでいました。

当日の漢字パズルの遊び方①

- ①パズルにしたい漢字を二人で3文字選ぶ・選んだものはすべて白板に書き出す。(自分の好きな漢字・今の気持ちの漢字などプラスのイメージの漢字を選ぶよう伝える)
- ②白板に書き出した中から各自が好きな文字を選んで太マジックで紙に書く。(A4用紙に9等分した位の大きさを1辺が10cm程度の四角いカード・はっきりした文字で書くようにするとよい)
- ③漢字を書いた紙を薄目の段ボールで糊で貼る。
- ④段ボールを切り、四角いタイル状のカードにする。
- ⑤一工夫：このまま使ってもいいし、カードを半分に切ったパズルにしてもいい。

当日の漢字パズルの遊び方② (進行の様子【ハードル設定】で表示)

- ①作った漢字パズルの中から一つ好きなものを選び、選んだ理由を二人で話す。
- ②二人で、それぞれが選んだ漢字を二つ並べて熟語(勿論、造語)を作り、紹介する。
- ③近くの二人と4人のグループになり、文字を合わせて、4文字熟語を作る。作った4文字熟語の読み方や意味などグループごとに紹介して、それを聞いて会話を楽しむ。

平成29年度コミュニケーション・ワークセミナー

「グループワーク・トレーニングの手法を取り入れた人間関係づくり」報告

1月28日(日)13:30~16:30に福井県社会福祉センターにて開催しました。久しぶりの大雪でしたが、10名の参加がありました。講師は大久保郁子氏(日本GWT研究会福井支部長)です。

〈セミナーの2本柱〉

- ①ホスピタリティの体験。ゲーム「あいこでジャンケン」「こんにちは」等を通して、相手と同じものを出すことで喜び、相手に合わせようとする気持ちがわいてくることに気づく。



- ②「みんなのシンボルタワー」で共同作業の体験。グループ作業で、倒れては積み上げ、倒れては積み上げ、完成!みんながそれぞれの意見をくみ上げながら意見を出して作業を進めていたことに気づく。

このセミナーでは、「人と人の関わりは必要であり、それは相手を想う・相手の存在を認める・相手の立場に立って行動、発言すること＝ホスピタリティ溢れる関わり」であることを研修しました。課程認定校の学生さんと一般の参加者との異年齢交流で、和やかな充実した時間となりました。

参加者の感想

- ・これからの仕事に活かせる内容ばかりでした。そしてとても楽しかったです。
- ・いろいろなあそびや体験をして、人との関わり方を改めて感じる事ができてよかったです。
- ・人との関わり方、相手を思いやりの言葉のかけ方など勉強させていただきました。日常生活や社会生活においても習ったことを活かして活動していきたいと思います。
- ・人見知りな私だけど、初めて会う人たちと楽しくゲームができたと思います。たくさん笑うことができみんなも楽しくやれたと思います。
- ・人と関わることの大切さを学べたと思います。一つ一つの話し方次第で変わってくるし、一つのことをみんなで達成する楽しさも感じました。



《77歳の挑戦!》

レクリエーション指導者の資格を持っている協会のメンバーの串崎紘子さんから、力強いメッセージを頂きました。レクとの出会いはご縁です。会員の皆さんにご紹介します。また、彼女の今後も応援したいと思います。

レクリエーションと私

中学校の卒業時、サイン帳交換に「前向き」という言葉を書いたのを覚えている。私は、山口県下関市で生まれ育ち、学校も職場も県内に限られていた。いつも楽しいことには目がなかった。16歳の時、学校をさぼって（先生には事前に正直に話した。なんと許可が出た）スキーに行った。雪のない下関ではスキーは珍しかった。おかげで外国にまで滑りに行った。福井に引っ越して来てからも勝山に70歳まで通った。

県庁に就職、結婚をし、出産のすぐ後、出張した先でレクに出会った。県自然保護課の行事で野外活動センターに行った。受付を済ませ開会式を待っていると、玄関前の木の下で若い女性がアコーディオンを引きながら歌唱指導をしているのを見つけた。その時「あっ、私がやりたいのはこれだ」と思った。2泊3日の研修の間、ずーっと彼女について回った。これがレクとの出会いだ。

私の中のレクは、①自分が楽しいこと。②周りに迷惑をかけること。③社会にマイナスにならないこと。④自分の中で正解であること。⑤次世代を育てること（指導者を含めて）と、ボランティア活動を含めて、長年こんな気持ちでレクに係わってきた。

40年前、山口県ではインディアカの普及に力を入れた。下関市ではレク関係の先輩方と「下関市レクリエーション研究会」に入会し、「協会」に発足させた。

12年前、「まだ早い。なぜ福井に？」といろいろ言われながらも、この地を終の棲家にすべく転居してきた。昨年10月に中学校時代の同期生で「喜寿を祝う集い」が計画された。せっかく下関に行くのなら【四国をぐるっと回って】ドライブしようと思いつき、後輩に持ち掛けて実現した。芦原温泉→淡路島→四国一周（6泊）→下関→広島→神戸→芦原温泉、13日間、2300Kmの旅だった。愛車は軽のラ・パン。よく走ってくれた。「77歳の挑戦！」だと自己満足している。

あの出会いからレクと一緒に歩んできた私の人生だが、悔いは何一つない。このままレクで楽しい老いの生活が続けられるといいな！と思っている。レクで出会った方々への感謝をいつまでも忘れない。



歴代先輩たちと 懐かしいメンバーでの

「感謝の会」開催報告



今年度、会長職をはじめ役員の方々が交代し、福井県レクリエーション協会は長田会長の下、新体制でスタートしました。

この機会に、福井県レクリエーション協会のために長い間ご尽力いただきました元会長の相馬幸右衛門氏・中村保之氏・白井信子氏、元副会長の円山紀子氏の4名をお招きして、当時理事職等についていた方々と、県レクの歴史や苦労話等を語り合う

「感謝の会」を10月15日“八兆屋駅の蔵”にて開催しました。4名、皆揃ってお越し下さり、本当に嬉しく思いました。

当日は、円山先生のソフトな指導法や白井先生の凛とした姿勢で指導する姿、中村先生の時には厳しい会議の進め方の指導の話などが参加者から思い出として語られ、最後には、相馬先生の声高らかな歌声をお聞かせ下さるなど、お招きした皆様方のいろいろな思い出話に触れながら、旧理事13名の出席者と共に楽しいひと時を過ごさせていただきました。

旧役員の方々には、健康に留意されてお過ごしくださいますようお願い致しますと共に、今後も福井県レクリエーション協会を温かく見守っていただきたいと思います。同時に、私たちはこれからの福井県レクリエーション協会発展のために、会員の皆さんと共に協力し努力していかなければいけないと強く感じた次第です。

「感謝の会」有志の会代表 大久保郁子

副代表 辻岡世紀子

いいね。



福井県レクリエーション協会フェイスブックスタートしました!

協会の情報を載せています。皆さんで「いいね!」クリックをお願いします。

平成30年・市町レク立ち上げに向かって

鯖江市にレク活動の拠点を作ろうと、一昨年から取り組んできました。



「レクリエーションクラブ」から「レクリエーション協会」への立ち上げに向かい3年目になります。今年度も引き続き「こどもエコクラブ活動交流会」に、エコクラフトブースを受け持たせていただきました。「楽しい」を子どもたちに伝えたいと頑張りました。

1回目 事前研修(鯖レクメンバー対象)

日時：12月23日(日) 10:00～15:00

場所：鯖江市民活動交流センター

【内容】

レクリエーションWS

- ・ イベント内容
- ・ 具体的なプログラミング
- ・ ハードル設定



2回目 事前研修(エコクラブ実行委員対象)

日時：1月19日(日) 19:00～21:30

場所：鯖江市環境教育支援センター

【内容】

「子どもとおとな

親しむ方法をしよう」

- ・ 遊ぶことは生きる事
- ・ 遊びを考える



3回目 「こどもエコクラブ活動交流会」でワークショップ

日時：2月3日(土) 8:50～12:30

場所：鯖江市郷陽会館「こどもエコクラブ活動交流会」会場

参加者：約390名(エコクラブ小学生約130名、スタッフ約250名・鯖レク6名)

内容：エコクラフトWS「ビービーマイク」参加小学生24名(①12・②12)

子どもたちの感想

- ・ 学校にもこんな音楽の時間があったら楽しいのになーと思った。
- ・ 家族のみまで4個作った。家族みんなで歌いたい。
- ・ 始め上手くならなかったけど、後から上手になって合唱までできた。



3月4日(日)「南越前町レクリエーション協会」が設立します



平成27年から毎年、設立準備会のメンバーがサークルとして「南越前町ふれあい産業物産フェア」にブースを出して、町民の皆さんにレクリエーション活動を通して楽しんでいただけるように、『お遊びランド』と称し、輪投げやクラフトを提供してきました。

また、平成28年には、レクリエーション・インストラクターの資格を取り、意欲的に学習してきました。

このたび、町教育委員会の後援もいただき、今年の3月4日(日)に設立の運びとなりました。これも町民の皆さんをはじめ、町教育委員会・設立準備会メンバーの心が一つになり、絆ができたものと思います。今後ともよろしくお願いします。

(世話人 内藤 恵美子)



デモスポ プレ大会 開催！

福井しあわせ元気国体・大会、いよいよ開催年に入りました。新聞紙上では連日のように関係ニュースが掲載されています。活躍を頼もしく思うと同時に、たくさんの方がスポーツを楽しむ契機になったら素晴らしいと思います。

県レク加盟種目団体のデモスポ競技プレ大会の様子をお知らせします。

ウオーキング

期日：9月10日(日)
会場：かつやま恐竜の森公園
参加者数：90名



5kmコースは恐竜の森ウオーキングロードを、10kmコースは恐竜の森から滝波川沿いを自由歩行した。晴天に恵まれ、参加者は爽やかな風の中、心地よい汗をかき、ウオーキングを楽しんだ。

サイクリング

期日：9月10日(日)
会場：大野市役所駐車場起点
参加者数：20名



ただ走るだけでなくスクール要素を加えた「上手に走れるようになる」サイクリングを目指しました。また、オリエンテーリング協会様の協力によりポイント集印を加えたゲーム性の高いサイクリングとなりました。

ドッジボール

期日：9月10日(日)
会場：敦賀市立体育館
参加者数：27チーム



2017 県民スポーツ祭ドッジボール大会を、敦賀市立体育館で開催しました。小学生から大人まで、約300人が、一日ドッジボールを楽しみました。

スポーツチャンバラ

期日：9月17日(日)
会場：小浜市民体育館
参加者数：100名



大型台風接近の中、多くの大会開催希望の声もあり、予定を一部変更しながらの開催でしたが、楽しく熱戦の大会となりました。

ディスクゴルフ

期日：9月24日(日)
会場：(坂井市)海浜自然公園
参加者数：21名



老若男女が楽しめ、おもしろさにハマる人急増中！これからも知名度アップにつながる普及推進を図り、競技人口増を目指します。

オリエンテーリング

期日：10月22日(日)
会場：芦原青年の家
参加者数：10名



台風による暴風雨となったが、荒天時のデモスポ運営の練習も兼ねて、体育館内において「対戦式クイック0」を実施した。

スティックリング

期日：11月26日(日)
会場：福井県営体育館
参加者数：400名



新しい体育館での大会は、コートとコートの間隔を広く取ることができ、審判員や選手の発声と笑顔も輝きを増していた。

ドッチビー

期日：11月26日(日)
会場：三国体育館
参加者数：95名



寒さを忘れるくらい熱戦が繰り広げられました。誰でも安全に取り組める競技です。これからも知名度アップにつながる普及推進を図り、競技人口増を目指します。

平成29年度

レク協会 事務局運営協力費の納入 ありがとうございました

本年度も事務局運営協力費の納入にご協力いただきまして、ありがとうございました。協会の運営に大切にに使わせていただきます。

平成29年度の事務局運営協力費を納入していただいた方には、来年度の協会主催の事業に割引で参加していただける『RECふくい券(平成30年度事業参加割引券)』を6枚(3,000円分)同封いたしました。

『RECふくい券(平成30年度事業参加割引券)』を、ぜひご利用いただき、来年度の協会の事業にご参加下さい。お友だちにお渡しいただいても結構です。

『RECふくい券(平成30年度事業参加割引券)』が使用できる講習会

- レクリエーション支援 基礎講座
- コミュニケーション・ワークセミナー
- その他(チラシに使用可と記載されているもの)

レクリエーション支援 基礎講座に関しては、会員本人様は、チケット1枚につき1講座(500円)が無料で受講できます。また会員以外の方がご利用いただく場合は、1講座500円割引となります。(1日に何枚使っていただいても結構です。)ご自分のスキルアップのためにも、ぜひチケットをご利用いただき、受講していただくことをお勧めします。

事務局便り

総会のご案内

平成30年度総会を下記により開催いたします。会員の皆様にはご出席くださるようお願いいたします。

- | | |
|-----|--|
| 期 日 | 5月19日(土) |
| 会 場 | 福井県立大学 地域経済研究所(吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1) |
| 日 程 | 9:30~10:00 受付
10:00~11:00 総会
11:00~11:40 お楽しみ会(買い物ブギを踊って
買い物しよう!エコバッグ持参です)
11:40~12:00 ハッピー抽選会 |



☆ お知り合いの方に声をかけ、誘い合ってぜひご出席ください。

☆ 同封のハガキにより出欠の連絡を必ずお願いします。(締切り4月25日(水))

☆ 連絡がない場合は、ブロック担当者が電話でお尋ねします。



福井県レクリエーション協会は、本年度、スポーツ振興くじ助成金を受け、情報紙「RECふくい」を5月・9月・3月の年3回、作成・発行しました。合計3,900部印刷し、県レク協会所属の公認指導者の皆様、関係機関・団体様にお届けしています。また、一般の方にも知っていただきたく、機会あるごとに配布しています。協会の活動状況や加盟団体・福井国体関係の情報等を掲載していますが、カラーで見やすい、なかなか参加はできないけれど協会の活動の様子がよくわかる、などの声が寄せられています。

福井県レクリエーション協会ニュース

年3回発行(5・9・3月)